

オンプレミスの日立ストレージと連携するエンタープライズクラスのクラウドストレージ

Hitachi Virtual Storage Platform One SDS Cloud

日立の高信頼なストレージ機能をAWS上でもご利用いただけます。

クラウドの利用に向けて、こんなお困りごとはありませんか？

構成・運用を変えずにクラウド化したい

複数のアプリケーションやワークロードが連携している複雑なシステム環境は、再設計に時間を要するが、短期間でクラウド化したい

ビジネスシーンにあわせて、オンプレミスとクラウドを柔軟に使い分けができるインフラを整備したい

オンプレミスもクラウドも使いこなしたい

本番環境は実績あるオンプレミスに残しつつ、開発環境は柔軟性あるクラウドサービスを活用したい

オンプレミスのデータを活かして新しいインサイトを得たい

高信頼なクラウド環境が欲しい

機密性の高いデータを扱える信頼性を、クラウド上でも確保できるか不安がある

システムを支える基盤として高信頼化したい

日立のクラウドストレージで解決

構成・運用を変えずにスムーズにクラウド移行

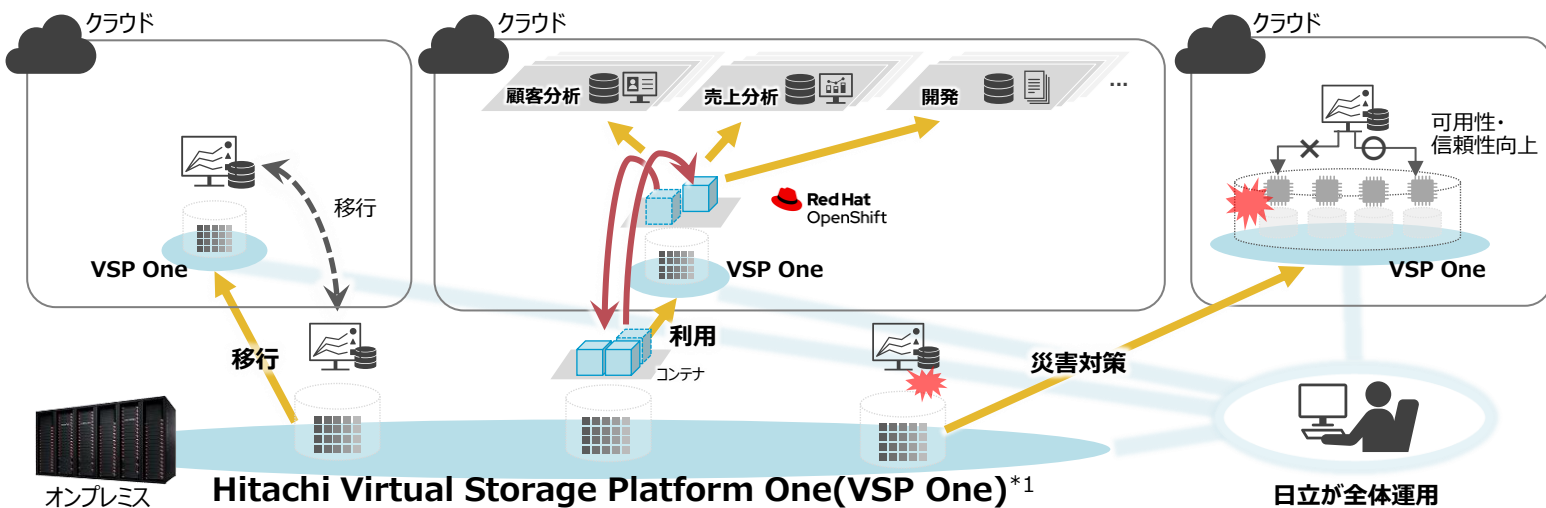
- クラウド上でオンプレミスと共通のデータ基盤を構築できるため、クラウド移行に伴うアプリケーションやインフラの再設計作業を最小限に抑え、クラウド化にかかる時間を短縮します。
- 特定のクラウドに依存した設計になりにくく、ビジネス要件の変化に伴い、クラウド間移行やオンプレ回帰が必要となった場合にも、移行負担を低減できます。
- 移行後は、オンプレミスとクラウド両方で日立技術者によるマネージドサービスをご利用いただくことで、お客さまの運用負担を低減します。

オンプレミスデータの利活用によりDX拡大

- ストレージのリモートコピー機能により、オンプレミスの SoR (Systems of Record) データをクラウドに同期できます。連携する複数システムのデータを整合性を保った状態でクラウドへ連携できるため、例えば、Red Hat® OpenShift® と組み合わせたコンテナ環境によるデータ連携で効率的に分析／開発業務を行うなど、さまざまシーンでオンプレミスのデータを利活用いただけます。
- クラウド上のBI (Business Intelligence) ツールと接続し新しいインサイトを得る、モダナイズに向けた開発環境を整備する、などお客さまのDX拡大を支援します。

システムの堅ろう性向上

- 日立のクラウドストレージサービスでは、これまで実績のあるストレージ技術をクラウドに応用した信頼性の高いクラウドストレージをご利用いただけます。安心・安全にデータを保護し、システムの可用性を高める高信頼化技術と仮想化技術が備わっており、オンプレミスのような高信頼なデータ基盤を構築いただけます。
- ミッションクリティカルなシステムの災対環境をクラウド化することも可能です。利用頻度の低い災対環境の維持費を削減し、システム全体のコスト最適化に貢献します。



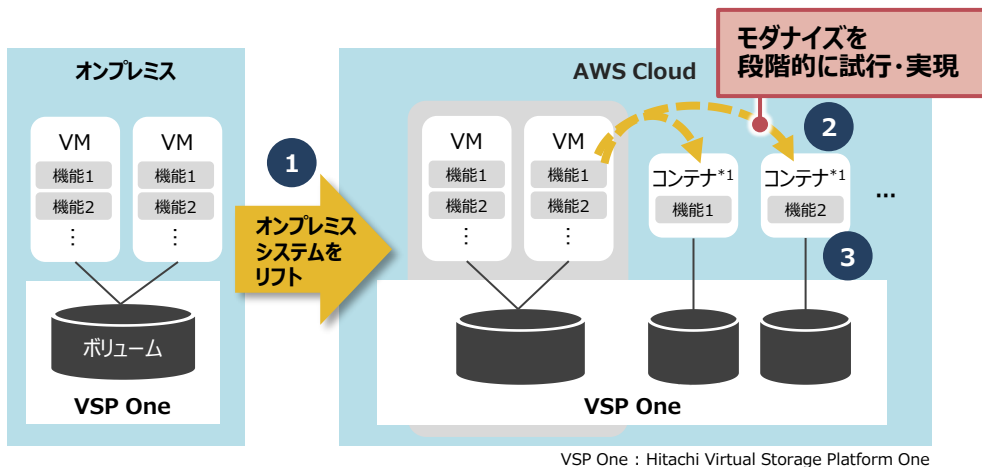
*1 Hitachi Virtual Storage Platformファミリーもサポートしています。詳細は弊社までお問い合わせをお願いいたします。

ご利用シーン

オンプレミスシステムのクラウド移行

オンプレミスシステムをAWSヘリフトしてから、コンテナ化を段階的に試行・実現

多様なシステムが相互依存／連携するような大規模システムのクラウド移行長期化を回避し、段階的にモダナイズ



*1 サポート環境は弊社までお問い合わせください。

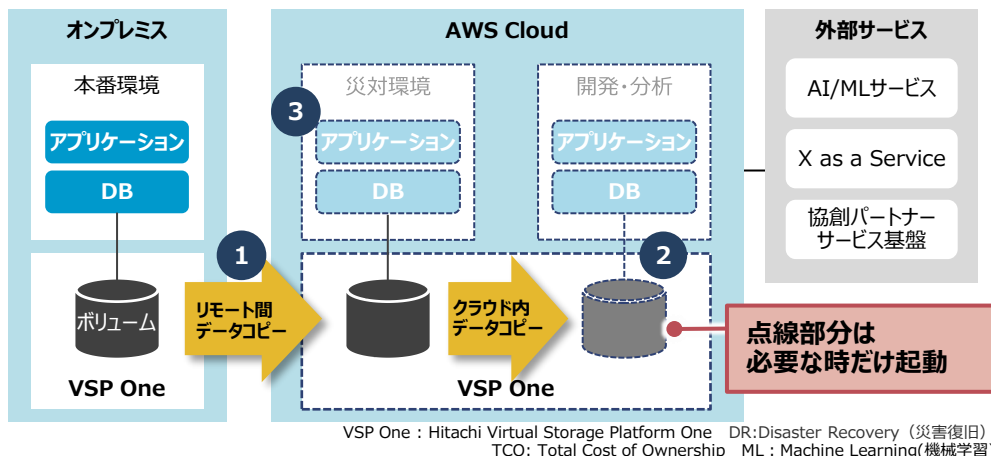
【ポイント】

- 1 まずはオンプレミスの共有SAN環境をAWS上ヘリフトします。
- 2 各システムを優先度順に段階的にコンテナ化*1します。
- 3 コンテナ化することで、アプリケーションとデータの可搬性を向上します。また、オンプレミスとクラウド、あるいはクラウド間の移動を容易化します。

災対環境のクラウド化とDX加速

本番環境はオンプレミスで継続運用し、災対環境からAWSヘリフト

既存DR環境からの大規模なシステム改修を回避し、TCO最適化とデータ利活用促進



【ポイント】

- 1 ストレージのリモートコピー機能を利用したDR構成を維持します。**DBの設計変更を最小限に抑え、システムの安定稼働を確保します。**
- 2 災対環境にてデータをさらに複製し、**開発・分析用に活用**できます。また、外部サービスとの連携でビジネス創出に貢献します。
- 3 必要に応じて災対環境を起動することで、**全体のコスト最適化**を図ります。

ご利用形態

マネージドサービスを活用した運用

- ・ストレージボリュームをクラウドサービスにて提供
- ・日立の専門技術者がクラウド移行や導入、運用管理に至るまでトータルサポート

お客さまポリシーに沿った運用

- ・ストレージソフトウェア製品をクラウド上のマーケットプレイス経由で購入
- ・複雑なインストール作業無しで、お客さまのクラウド環境に導入可能

・Amazon Web Services, AWS, Powered by AWS ロゴ およびAWS Marketplaceは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
・Red Hat OpenShift および Red Hat ロゴは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.およびその子会社の商標または登録商標です。
・EverFlexは、Hitachi Vantara LLCの登録商標または商標です。
・その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の登録商標もしくは商標です。

●本書に記載の仕様は、製品の改良などため予告なく変更することがあります。
●本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

■ Hitachi Virtual Storage Platform One SDS Cloudに関する 詳細・お問い合わせ先はこちら

https://www.hitachi.co.jp/products/it/storage-solutions/cloud_storage/index.html

日立のクラウドストレージに関する情報は、スマートフォンからもご覧いただけます

